

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

537-590

事務事業名	道整備交付金事業(南信濃156号線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	11	7		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
施策	44 交通機関と道路の充実												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 地域再生計画 条例等							
		事業期間	17	年度～	20	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	通過車両 (対象指標と数値は総括表参照)	自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			200	250		
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	便利で安全に移動ができる(成果指標数値は総括表参照)	修繕率(%) = 実施延長/計画延長	18目標	51.5	最終目標	100
			18実績	51.5	19目標	75.8
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	・地域再生計画に基づいて地域の活性化を目指し、道路を改良する事業であり、国の基準に従い幅員、歩道設置等を決定している。南信濃156号線(ヒョ-越)舗装工事 L = 7,000m W = 4.0m H. 17 ~ H. 20年度	道路舗装工事 L = 1,822.6m W = 4.0m CBR試験 10箇所	工事施工延長(m)	1,822.6m
		18年度の実績		
	道路舗装工事 L = 960m W = 4.0m	工事施工延長(m)	960m	
	19年度計画			

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	35,000	17,500
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	38,700	19,470
	その他		
一般財源	26		
事業費計(A)	73,726	36,970	
人件費	正規職員所要時間	18年度 200	19年度 200
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	715	715
	トータルコストA + B	74,441	37,685

特定財源内訳や補足事項	交付金補助率50% 過疎債100%
-------------	----------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	便利で安全に移動ができる。	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)(%)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	45
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)(%)	現状値	37.6	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		35	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>本路線は、静岡県浜松市と飯田市を結ぶ重要な観光・産業道路であり、年々交通量が増加し、舗装路面が著しく損傷しているため、通行の安全性が損なわれるとともに製品等の品質低下の要因となっていることから、早急に舗装修繕を実施し通行者の安全確保と品質確保を図りたい。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>舗装修繕を実施したことにより、車輛通行がスムーズになった。全線にわたり損傷が著しく地元から早期舗装修繕の要望が強くなっている。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>計画されている三遠南信自動車道の整備完了までの間、当路線は浜松市と飯田市を結ぶ唯一の幹線道路であるため早期舗装修繕が期待されている。気象条件・現場条件により施工できる期間が限られているため、全面通行止めに対する苦情が観光関係者から出ている。</p>
--	---	--

**【See】18年度の振り返り**

<p>目的 妥当性 評価</p>	<p>この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)</p> <p>舗装修繕したことにより、通過交通の安全性が確保され交通事故の減少、製品の品質確保が確保される。</p>	<p>有効性 評価</p>	<p>成果をさらに向上させる余地はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 余地がある (その理由)</p> <p>当路線の舗装修繕の必要箇所の再調査を実施する。</p>
	<p>対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がある (その理由)</p> <p>舗装修繕箇所の見直し。</p>		<p>廃止・休止した場合の影響はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 影響あり (その理由)</p> <p>通行交通の安全性確保に支障をきたす。</p>
	<p>意図の見直しの必要性はありますか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要性がない (その理由)</p> <p>都市部との交流に必要な路線の安全性の確保は必要である。</p>		<p>他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 類似事業なし (類似事業名、理由)</p>
	<p>市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)</p> <p>市の管理する道路である。</p>		<p>効率性 評価</p> <p>成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 可能 (その理由)</p> <p>設計、監督については委託により対応する。</p>
			<p>公平性 評価</p>	<p>受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？</p>	<p>(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由)</p> <p>不特定多数が使用する公共の道路であり負担無し。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> 具体化</p>	<p style="text-align: center;">何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>H17年度工事では、迂回路が確保できたが、H18年度施工区間は迂回路が確保できないため、観光客、通過車輛等への影響を考慮して工事を実施する。 H19年度施工予定区間も迂回路がないため、施工延長を減らして通行止め期間の短縮を図る。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>施工時期・時間、施工方法等を検討し通行車輛への影響を最小限にいとめる。</p>
--	---

**【補足事項環境側面】**

<p>(1) 環境影響評価の必要性判断</p>	<p><input type="checkbox"/> 必要性がない</p>	<p>(2) 必要性な場合の実施事由</p>
<p>(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？</p>		

**【指摘事項】**

<p>施策マネジメント会議</p>	
<p>施策評価会議</p>	
<p>第5次基本構想基本計画推進委員会</p>	